

自治体の デジタル・トランスフォーメーション ～組織・人事課題の考察～

2021年9月、日本のデジタル社会実現の司令塔として、デジタル庁が発足しました。

自治体においては、DX（デジタル・トランスフォーメーション）のための予算と人員を積極投入する動きはあるものの、政府が掲げる『行政の100%デジタル化』の対応は道半ばであり、実現には多くの課題が残されています。大手総合研究所の調査では「政府が掲げるデジタルガバメント実行計画に準拠したサービス改革やシステム対応が8割以上可能」と答えた自治体は17%程度で、人材不足やDX推進組織の構築などに課題を抱えているという結果が報告されています。

本研修では、昨年度ご登壇いただいた講師をお招きし、組織・人材に重点を置き、事例紹介を交えながら自治体のデジタル・トランスフォーメーションをテーマにお話しいただきます。

〈講師〉

一般社団法人行政情報システム研究所
主席研究員

狩野 英司 氏



〈講師プロフィール〉

中央官庁、大手シンクタンク等を経て現職。行政機関や企業の業務・システム改革、デジタル・ガバメントに関する調査研究に長年携わる。2020年に筑波大学発ベンチャーD's Linkを第二創業、地域DX人材育成に取り組む。月刊J-LIS誌で「デジタル技術の基礎知識」を連載中。著書に「自治体職員のための入門デジタル技術活用法」。(一社)行政情報システム研究所主席研究員、(有)D's Link取締役CEO、福井県CDO補佐官、調布市デジタル行政推進アドバイザー、事業構想大院客員准教授、筑波大院非常勤講師。博士(システムズ・マネジメント)。

【日時】

12/2(金)
14:30～16:30

【場所】

ワйм貸会議室お茶の水
ROOM A+B

(千代田区神田駿河台2丁目1-20
お茶の水ユニオンビル 4F)

【対象】

管理職及び係長級職員。但し、受講を希望する主任も可。

【申込】

各区・事務組合の研修担当まで。

【問合せ】

特別区職員研修所管理課

☎ 03-5298-3917 (9/22まで)
03-6261-1560 (9/26から)